

【資料】研究発表資料より抜粋

① 学校教育目標の共有

2 令和4年度までの課題と改善に向けた取組

① 学校教育目標「未来(あす)をきりひらく子」

② 安倍川プライド

- 1 前向きに取り組む子
- 2 主体的に活動し粘り強く努力する子
- 3 規則正しい生活を送る子

③ キャリアプラン(中3の姿)

- 1 基礎的・基本的な学力
- 2 自己有用感
- 3 人間関係調整力
- 4 安定した生活習慣
- 5 体力づくり
- 6 主体的に取り組む力
- 7 愛郷心
- 8 社会性・協働性

【整理前】

安倍川プライド+中3の姿  
3+8=11の姿

【整理後】

新安倍川プライド  
3つの姿に整理

① 学校教育目標「未来(あす)をきりひらく子」

② 新安倍川プライド

- 1 前向きに取り組む子(自己調整力)
- 2 仲間と共にがんばる子(人間関係調整力)
- 3 安倍川地区に誇りをもつ子(愛郷心)

③ キャリアプラン(中3の姿)→新安倍川プライドの3つの姿に含まれるものとした

⑤ 目指す子ども像の育成を目的とした取組の検討・実施・評価(重点を置く「安倍川プライド」と「3つのポイント」の設定)

◎ 生活科・総合的な学習の時間部

- ▶ 重点を置く「安倍川プライド」
- ▶ ② 仲間と共にがんばる子
- ▶ ③ 安倍川地区に誇りをもつ子



APPM(軸となる取組系統表)より

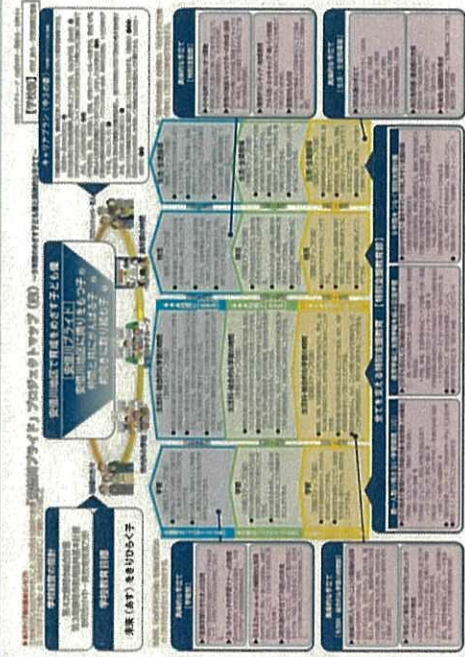
- ▶ 生活科・総合的な学習の時間部
- ▶ 「育成をめざす姿を実現する」  
ために意識した『3つのつ』

- ▶ ① つなぐ
- ▶ 教師の『つなぐ』意識
- ▶ ② つくる
- ▶ 地域と『創る』意識
- ▶ ③ つみあげる
- ▶ 子どもにも『積み上げる』  
実感をさせる意識

APPM(軸となる取組系統表)より

② 各ステップの目指す子ども像設定

3 安倍川プライドプロジェクトマップ(APPM:軸となる取組の系統表)



【学校版APPM】

<ねらい>

- ◆ 安倍川中グループ小中一貫教育のコンセプトを3校で揃える。
- ◆ すべての教員が作成に関わることにより、自分事としてとらえる。

「誰もが理解している」  
「誰もが説明できる」

◎ 学習・研修部

- ▶ 重点を置く「安倍川プライド」
- ▶ ① 前向きに取り組む子
- ▶ ② 仲間と共にがんばる子



APPM(軸となる取組系統表)より

- ▶ 学習・研修部
- ▶ 「育成をめざす姿を実現する」  
ために意識したポイント
- ▶ ① 見通しをもつ
- ▶ ゴールを共有する場の設定
- ▶ ② 広げる・深める
- ▶ 意図的な対話活動の場の設定
- ▶ ③ 再構成する
- ▶ 表現する場の設定



◎生活・生徒指導部

▶重点を置く「安倍川プライド」

- ①前向きに取り組む子
- ②仲間と共にがんばる子

生活・生徒指導部	生活・生徒指導部	生活・生徒指導部
<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>

APPM(軸となる取組系統表)より

●生活・生徒指導部

- ▶『育成をめざす姿を実現する』  
ために意識したポイント

- ①基本的な生活習慣の確立  
▶体と心の健康(元気・楽しい)
- ②健全な集団づくり  
▶ルール・マナー
- ③自己有用感の醸成  
▶自己肯定感・達成感

◎特別活動部

▶重点を置く「安倍川プライド」

- ①前向きに取り組む子

特活	特活	特活
<p>(他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p>(他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p>(他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>

APPM(軸となる取組系統表)より

◎特別支援教育部

特別支援教育部	特別支援教育部	特別支援教育部	特別支援教育部	特別支援教育部
<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>	<p><b>特活</b> (他校との交流)は、本校の特色である。生徒の個性を伸ばし、自信を育て、仲間と協力し、目標に向かって努力することを目指す。また、地域社会への貢献や、社会問題への関心を高めることを目指す。</p>

●全てを支える 特別支援教育部

- ▶『育成をめざす姿の実現』を支援するために意識したポイント
- ①誰一人取り残さない学習環境(UD)
- ②どの子も安心し、学びある交流学習
- ③9年間をつなぐ個別支援計画

④グループデイ等による研究内容の共有・研究ロード校(輪番制)による研究の継続

【安倍川中グループ】UD交流学習...  
UD交流学習...  
ホーム 授業 教室見学 人的環境 交流学習

# 【安倍川中グループ】UD交流学習実践サイト

- ▶『育成をめざす姿を実現する』  
ために意識したポイント

安倍川中グループの教員のみならずが普段実践しているユニバーサルデザインを取り組みや、新しく実践したこと等を、このサイトに集めたいと思います。通常学級と特別支援学級との交流の実践についてもお願いします。

目的①一人1実践以上取り組み、互いの実践を知ることを通して、ユニバーサルデザインへの意識を高める。

②交流学習の実践についても、互いの実践を知り、自らの今後の取り組みに生かす。

③実践を「小中一貫教育実践発表会」で発表し、市の教員へ広める。

できる限り、一人1実践以上の入力をお願いします。(タイトル、写真、実践内容、成果) 内容によっては写真が撮れない場合があります。